

公益財団法人 立松財団
平成30年度 事業計画書

自:平成30年 4月 1日
至:平成31年 3月31日
(万円未満切捨表示)

費目	科目	助成区分	助成金額 (目安とする件数)	日程 他	(参考) 平成29年度	
					計画	実績見通し
研究助成 金支出	研究 助成 金	A. 特別研究助成 250万円 機械・装置などで高額 の費用を要する高度な研究 (250万円以上)	※1 0~1,250万円 (0~5件)	<公募> 3月12日~4月19日	800万円 (4件)	800万円 (4件)
		B. 一般研究助成 150万円 機械・装置などで費用 を要する研究 (150万円以上)	※1 3,000万円 ~4,250万円 (20~28件)	<審査・選考> 4月26日~5月14日	1,400万円 (14件)	1,400万円 (14件)
		(小計)	※1 上限 4,250万円	<選考委員会> 5月末~6月初	2,200万円 (17件)	2,200万円 (17件)
		C. 海外調査研究助成 ※2 15 or 20万円 〔渡航地域が a地域は15万円、 その他 b地域は20万円とする〕 海外での研究発表や 情報収集	※2 0~400万円 (0~26件)	<海外研究助成 渡航期間> 平成30年4月1日~ 平成31年7月31日 (その他詳細は募集要項による)	400万円 (20件)	400万円 (21件) (内訳) 20万円 (16件) 15万円 (5件)
		(小計)	※2 上限 400万円		400万円 (20件)	395万円 (21件)
		研究助成金 計	※3 上限 4,650万円		2,600万円	2,595万円
事業管理 経費	①:選考委員謝金、会議費等 選考委員会の開催経費	57万円		57万円	51万円	
	②HP管理費 財団の事業を紹介する	6万円	http://www.tatematsu.or.jp/	6万円	6万円	
	事業管理経費 計	63万円		63万円	57万円	
事業費用 合計			4,713万円		2,663万円	2,652万円

※1 A:特別研究、B:一般研究助成において、同じ土俵で順位付けした上で、件数にこだわらず予算額(4,250万円)まで助成。ただし、Aの250万円は5件までとし、Aの6番目以降の場合は予算枠に入れば、150万円を助成。

※2 C:海外調査研究助成において、渡航地域により助成金額を2つに区別(a地域 15万円 b地域20万円)し、上位より予算額(400万円)まで助成。

※3 助成区分AB(※1)とC(※2)において、いずれか一方が上限予算まで計画どおり対象者の選出ができない場合、選考委員会の決議を持って※1 ※2 の上限額にとらわれず 総額(4,650万円)を上限に助成。

a 地域:
東アジア
東南アジア諸国

[参考]
東アジア 大韓民国 中華人民共和国 朝鮮民主主義人民共和国 モンゴル国 台湾
東南アジア インドネシア カンボジア シンガポール タイ王国 東ティモール フィリピン